

令和2年度休校中の課題の進め方について(理科)

教科(科目)	単位数	科・学年	準備物
化学	4単位	普通科・3年理系	ワーク(化学 準拠ノート)及びノート 化学&化学基礎の教科書 ルーズリーフは不可

進め方	<p>スタサブの動画を視聴してノートを作る(基本は板書の内容)必要に応じて書き足し可。スタサブの確認テストもやる。</p> <p>ワークのうち準拠ノート 教科書の整理について空欄を埋める。(答えは未配布)教科書の問題については自力で解いてみる。(学校再開後確認テストを行う)分冊化されたドリルもやる気があるならどんどん進めて構いません。</p>
提出物及び締切	<p>休校措置解除後に進めた分のノート及びワークを提出</p> <p style="text-align: center;">～5/16 に視聴すべきものは下表の 講座番号11～13 (提出日は19(火)) 5/17～5/23 講座番号14～17 (提出日は26(火)) 5/24～5/31 講座番号18～20 (提出日は休校明け)</p> <p>準拠ノートはp.14-23とp.40-42までを教科書を見ながら埋める。わからないところは空白でよいが、必要性を感じる者には学校が始まってから補講を実施する。</p>
その他	<p>評価の方法(観点)は、前回と同じです。</p> <p>登校日の提出物は ①自作のノート ②ワーク(準拠ノート)</p> <p>その場でスタンプを押します。忘れたら、後日再登校になるので、忘れずに。</p>

講座番号	教科書ページ ワーク(単元)	内 容	備 考
11	p.27- ⑨粒子の熱運動	高校1・2年 化学 <理論> 第30講 物質の三態と状態変化 テキストはダウンロードしなくても大丈夫です。 以下、チャプター内の問題解説はノートに書く必要なし。	皆さんにとっては化学基礎の復習に当たる範囲です。 提出日は19(火)
12	p.31- ⑩気液平衡と蒸気圧	高校1・2年 化学 <理論> 第31講 飽和蒸気圧	提出日は19(火)
13	p.36- ⑪気体の体積 ⑫気体の状態方程式	高校1・2年 化学 <理論> 第26講 気体(気体の基本事項・状態方程式と計算)	公式覚えてくださいね。 提出日は19(火)
14	同上	高校1・2年 化学 <理論> 第27講 気体(気体の計算方法)	気体は物理選択者は簡単でしょうね!? 計算問題が続きますが、やり方をマスターすれば、小学校の算数で解けます。
15	p.42- ⑬⑭混合気体の圧力	高校1・2年 化学 <理論> 第28講 気体(混合気体)	
16	p.45- ⑮実在気体	高校1・2年 化学 <理論> 第29講 理想気体と実在気体	
17	(化学基礎)p.128-	高校1・2年 化学 <理論> 第19講 酸化還元(定義・参加数・代表的な酸化剤・還元剤・酸化還元反応)	復習の単元。 提出日間違えずに 提出日は26(火)
18	(化学基礎)p.138-	高校1・2年 化学 <理論> 第20講 酸化還元(反応式・量的関係)	皆さんにとっては化学基礎の復習に当たる範囲です。 特に計算問題ができるようになってください。
19	p.91- ⑳電池(1)	高校1・2年 化学 <理論> 第21講 ボルタ電池・ダニエル電池・電気量計算	
20	p.94- ㉑電池(2)	高校1・2年 化学 <理論> 第22講 鉛蓄電池・燃料電池	
			提出日は休校明け